

「無理だと思わないことが一番」 (大谷翔平)

校長 桐野 和之

アメリカのメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手をご存じの方は多いだろう。その彼の生き方の中に、「できるか、できないかよりも、誰もやらないことをやってみよう。それが自分のモチベーションになっている」、そして「無理だと思わないことが一番大事だと思います。無理だと思ったら終わりです」と彼は言う。

大谷選手は中学から高校に進んだときに、野球部にスピードガンがあって、自分が投げているボールの速さがわかるようになります。初めて140キロとか、150キロという具体的な数字がわかるようになると彼は、自分の工夫でそれを伸ばしていくことが楽しくて仕方なかったという。こんなエピソードもあります。ある年のクリスマス、練習をしていた大谷選手は「あっ、これいいかもしれないな」という発見があった。そのときに彼はこう思ったというのだ。

「もしクリスマスだからといって練習を休んでいたら、このひらめきに出会えなかった。練習を休まなくてよかった！」また、大卒として、大谷選手と同じ年に日本ハムファイターズに入団した鍵谷陽平（かぎやようへい）選手（現読売ジャイアンツ）は、新人時代の大谷選手について、こう語っている。「翔平は野球のことだけ考えて生活している。あの歳だったら、もっと遊びたいだろうに。自分が周りにどれだけ期待されているかということを自覚しているんでしょうね」。

アメリカには、代表的な二刀流プレーヤーで「野球の神様」とも言われる伝説のベーブ・ルース選手がいた。大谷選手は昨年、頻繁にルース選手と比較されるようになる。

アメリカの日曜日のゴールデンタイムでもっとも影響力のあるテレビ番組CBS局は番組の中で、大谷選手を「日本のベーブ・ルース」という表現で紹介した。しかし、今の米メディアは、大谷選手について「比較レベル」ではなく、もはや「ベーブ・ルースを超越した選手」と高く評価している。実は大谷翔平には今も大切にしている、父の3つの教えがあります。

1つ目は、「大きな声を出して、元気よくプレイする」。やみくもに声を出すのではなく、連携プレイを含めた中での確認作業をするために、アウトカウントやストライクカウントなどを大きな声で確認し合う。選手間で各打者の打球傾向を確認し合ったり、たとえば「セーフティバントをされそうぞ」と言い合ったり、元気よく声を出してプレイし、コミュニケーションを大事にしてほしいという思いが込められていた。

2つ目は、「キャッチボールを一生懸命に練習する」。肩を温めるだけのキャッチボールではなく、自分が意図するところ、狙ったところに投げる。指にかかった縦回転のスピンの効いたボールを投げられるためにキャッチボールの段階から意識を高く持って投げることを求められました。

3つ目は、「一生懸命に走る」。野球は走るスポーツでもあるために、力を抜かずに最後まで全力で走ることを指導されました。大谷選手が大きく飛躍した根底には、実は謙虚に当たり前のことを当たり前に繰り返す姿勢と努力があったのだと思います。

日々の中で当たり前のことを謙虚に積み重ねていくと特別なものになる。「無理だと思わないことが一番」という生き方、素敵な生き方だと思いませんか。

イングリッシュキャンプを終えて

7月27日から2泊3日、千葉県の岩井にあるベルデ岩井少年自然の家で1年生のイングリッシュキャンプを実施しました。練馬区の施策による初めての試みです。

行事の実施目的には①異文化理解、②コミュニケーション能力の向上、③英語に親しみ楽しく学ぶ、などが目的として掲げられていました。

ただ、それ以上に貫井中学校としては3年ぶりの宿泊行事の実施。実施前からコロナ禍の中での宿泊行事をどのように進めていくのか。先生方もいろいろな工夫を懸命にこなしながらの宿泊行事でした。

バスの乗車も人数制限を設け、クラスを解体しての分散乗車。運動をするとき以外は必ずマスクを着用する。食事の際に黙食の徹底。入浴も可能な限り人数を制限する。就寝も互い違いに布団を引く。そのようことを心がけて実施したイングリッシュキャンプ。天候にはしっかりと恵まれ、3日間とも晴天、子どもたちの笑顔溢れる久しぶりの宿泊行事となりました。コロナウィルスの恐怖もありますが、実施できる喜びが大変大きかったように思います。

現地に到着してからの開園式。実行委員の生徒達がしっかりと司会進行を行い、大きな声と丁寧な言葉遣いで予定どおり事を進めるようすに大変感心しました。

昼食後には体育館で早速NOVAの講師の方々が個性的な自己紹介を行い、子どもたちの歓声を引き出していました。特に自己紹介にはその国のお国柄が出ているためか見ていて、聞いていて大変楽しいものでした。南アフリカ、ケニア、オーストラリア、カナダ、フィジー、ジャマイカなど多くの国の方々が楽しく自らの紹介を行っていました。

講師の方々の中には国際弁護士を務めておられる方も居て、我々貫井中の先生方との会話も積極的に楽しく、休憩時間や移動時間に行ってくれました。

自己紹介後は13のグループに分かれ、宿舎のいろいろな場所（研修室、体育館、図書スペース、ロビー、その他）での活動、交流時間となりました。

まずはグループとしてのチームワークを高めることに力を入れ、もちろん講師の先生方は英語での指示、会話です。生徒はその対応に少し戸惑いながらも、片言の英語での対話を楽しんでいるようすでした。

初日の夜は7時過ぎから宿舎前でのキャンプファイヤーを行いました。ここでも各グループで講師の先生の国の歌や踊りを教えてもらい発表する楽しい時間となりました。

特に南アフリカの講師の先生は自国の太鼓を用いて生徒達に踊りと歌を教えて披露させ、大変その場を盛り上げていたり、運動会で男子が踊っていたスリラーを発表したりするグループがあったりして、大変楽しい時間となり予定時間をオーバーしてしまう状況でした。

2日目はSDGsに各グループが取り組みました。宿舎から海岸線に沿って約2km範囲でゴミ拾い等を行い、自分たちができるSDGsにはどのようなことがあるのか考えるきっかけとしました。炎天下で日に焼けながらも、英語での対話を楽しみながら取り組んでいるようすが窺えました。

2日目の夜は、学年のレク。実行委員の生徒を中心に自主



的に運営し、ドッチボール、クイズに取り組みました。自ら考え、自ら取り組む、そして互いに注意の言葉を掛け合いながら楽しむように頼もしさを感じました。

3日目の最終日は、体験してみたSDGsから「自分たちができるSDGsとは何か」を各グループが考え英語で発表しました。英語にはたどたどしさはありましたが、講師の方々のアドバイスや助言をしっかりと聞き、受け止めながらの英語での発表は大変良かったと思います。帰りの昼食場所で楽しそうにお家へのお土産を購入している姿も印象に残りました。

予定どおりに宿泊行事がとにかく実施できて良かったという思いでいっぱいでした。実施することに意義があり、実施することで子どもが成長していくと強く感じました。

ただ、一方でコロナに対する感染予防対策と上手く付き合いながらという条件が付くことも確かです。いつ、どこで、誰が感染するのか分からない現在の社会状況です。感染に対して敏感になり、しっかりと学校と家庭で予防対策を行っていくことが、あらためて学校行事を中止に追い込まない条件だと思いました。これからも子どもたちが成長していく場を失いたくありません。今後ご家庭のご理解、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。



令和4年度 全国学力・学習状況調査 (生徒質問紙)

今年度の初めに3年生で実施された全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で顕著となった貫井中学校に関する主なデータ等について紹介いたします。(データは主に当てはまる、どちらかと言えば当てはまるを合わせた数値になっています。)

①将来の夢や希望をもっていますか。

〔貫井中〕68.9% 〔東京都〕65.4% 〔全国〕67.3%



②学校に行くのは楽しいと思いますか。

〔貫井中〕89.4% 〔東京都〕82.4% 〔全国〕82.9%

③自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

〔貫井中〕87.0% 〔東京都〕76.7% 〔全国〕75.9%



④友達と協力するのは楽しいと思いますか。

〔貫井中〕94.8% 〔東京都〕93.6% 〔全国〕93.7%

⑤1日(月～金)どれぐらいの時間、勉強をしますか。・・2時間以上で区切った場合

〔貫井中〕42.3% 〔東京都〕43.2% 〔全国〕35.2%

⑥1日(土～日)どれぐらいの時間、勉強をしますか。・・2時間以上で区切った場合

〔貫井中〕38.4% 〔東京都〕48.2% 〔全国〕44.9%

⑦家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

〔貫井中〕50.4% 〔東京都〕59.9% 〔全国〕58.5%

⑧普段、1日当たりどれぐらいの時間読書をしますか。・・1時間以上で区切った場合

〔貫井中〕20.8% 〔東京都〕28.6% 〔全国〕27.3%

⑨読書は好きですか。

〔貫井中〕54.1% 〔東京都〕67.4% 〔全国〕68.2%



⑩授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。・・・週3回以上

〔貫井中〕86.0% 〔東京都〕52.6% 〔全国〕50.9%



⑪学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。・・・週3回以上

〔貫井中〕51.5% 〔東京都〕39.5% 〔全国〕37.2%

⑫学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。・・・週3回以上

〔貫井中〕49.6% 〔東京都〕16.6% 〔全国〕17.8%

⑬学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。・・・週3回以上

〔貫井中〕49.6% 〔東京都〕16.6% 〔全国〕17.8%



⑭授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して話していましたか。

〔貫井中〕81.5% 〔東京都〕73.4% 〔全国〕63.3%

⑮学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。

〔貫井中〕90.0% 〔東京都〕79.5% 〔全国〕78.7%

⑯学習した内容について、分かった点や、良くわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

〔貫井中〕90.0% 〔東京都〕79.5% 〔全国〕78.7%

⑰普段（月～金）、1日どれぐらいの時間、テレビゲーム（PC、携帯、スマホ他を含む）をしますか。

〔貫井中〕33.4% 〔東京都〕29.1% 〔全国〕29.8%

⑱普段（月～金）、1日どれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

〔貫井中〕33.3% 〔東京都〕30.0% 〔全国〕29.5%



新聞記事より

読売新聞「編集手帳」8/18

ものごとが盛りに来ていることを示す「最中」は「もなか」と読んだとたん、和菓子になる。記事の見出しになると紛らわしいが、昔の紙面には多用されていた。

縮刷版からひろってみる。「花見最中」「運動会最中」「結婚式最中」…これらは街の菓子屋さんで売られていてもおかしくないだろう。かたや「疑惑の最中」「内閣改造最中」といったものは、あえて「もなか」と読んでみるとちょっとおかしい。

ところで、最中の皮は米粉で作られている。その伝統の加工技術が救いになるのかもしれない。小麦粉の代替品として米粉への期待が高まっている。

米は小麦のように軟らかくないことが製粉を妨げてきたが、技術の進歩で食品の安定的な原料となる一歩手前まで来ている。小麦粉並みの質量が整えば、パンや綿製品への大がかりな活用が可能になるとされ、開発に力を注ぐ食品会社は多いという。

戦争や異常気象で世界の穀物事情は厳しさを増す。米粉の普及は先々の安心にもつながるだろう。米余り、米離れといった言葉を、過去のものにできるかどうか。変革の最中に今があるとすれば、いいことだろう。